

## 地域公共交通会議委員からの意見と対応

該当する章・頁	指摘・意見	回答・対応
2. 公共交通の現状に関する整理 【16P～】	「交通空白地域」がどこの地域か分かるような資料や図を追加してください。	現況部（18P）に追加しました。
4. 公共交通に関する現状及びニーズに関する課題 【64P～】	湖西市地域公共交通総合連携計画で定められた事業実施における残された課題への対応について、その課題が何か分かるように記載するか、課題が記載された該当ページを記載して下さい。	65Pにおいて、湖西市地域公共交通総合連携計画で定められた事業実施における残された課題を明確に記載しました。
	個別課題として挙げられている「天竜浜名湖線の利用増進」に対応する取組を明示してください。	98Pに天浜線の利用者増のために実施している施策を明示しました。 ※天竜浜名湖線小学校入学祝記念乗車券、天竜浜名湖線敬老記念乗車券の発行など。
5. 湖西市における地域公共交通の課題 【71P～】	個別課題として明記されている事項については、それぞれどのような取組を進め、どのようなスケジュールで行っていくのかを明記すべきだと考えます。 また、取組内容について、検討が深まっていないのであれば、来年度も引き続き検討を行うこととし、その旨をスケジュールに示すべきだと考えます。	本計画で定める施策は、個別課題を整理して設定した4つの基本方針に基づくものであり、各種施策を実施することにより、基本方針に対応した個別課題の解決につながります。 103、104Pの各事業の実施スケジュールにおいて、対応する基本方針を記載しました。
	個別課題と課題を解決するための取組の論理性が分からないため、個別課題と課題とのつながりが分かるように明記し、取組の妥当性を明らかにすべきと考えます。	取り組みの妥当性（取り組む理由）については「基本方針、将来像を達成するため」としています。評価指標を設定し、指標を達成するために施策に取り組むため、その流れが分かるようにスケジュール部分に追記しました。

該当する章・頁	指摘・意見	回答・対応
5. 湖西市における地域公共交通の課題【71P～】	湖西市が今後良質な公共交通網を形成していくためにも、78Pの各地区の特徴を踏まえ、市内の地区ごとに現状や課題を整理し、具体的な取組方針を示すべきだと考えます。	グループインタビューで各地区住民の意見や課題を整理しました。90Pからの地域公共交通ネットワークの形成(1)～(4)において地区毎の取り組みとして示しました。
6. 持続可能な地域公共交通の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針【83P～】	交通将来像の目的を明瞭簡潔に伝えるために「誰もが、安全、安心、快適に移動できるまち」にした方が伝わりやすいのではないかと	ご指摘の表現が簡潔であると考えます。より具体的な表現が伝わりやすいと考えるため、“交通環境が充実した”という言葉を加えて交通将来像とさせて頂きました。
	基本方針1 今後は地域の公共交通が果たすべき役割を明確化し各路線が連携・協働して、効果的な運行を図りますとあるが、効果的運行とは、具体的にはどのように運行するのですか。	今まで以上に地域公共交通としてコミュニティバスとの連携を深めることにより、効果的な運行を目指しています。具体的には、90Pや92Pに示すとおり、JRや天竜浜名湖鉄道など拠点駅におけるバスとの乗り継ぎを今以上に考慮したダイヤ設定を検討し、実施します。
7. 計画の目標(案)【88P～】	市民自らが主体性を持って活動する組織の立ち上げなど、がありますが、基本方針1で言っていることですか？市民自らが主体性を持って活動する「コーちゃんバスを上手に利用する会」を立ち上げる。ということですが、対象は誰でもよいのですか？	市民自らが主体性を持って活動する組織としては、“コーちゃんバスを上手に利用する会”を考えています。対象者は、原則市内に在住・在勤でバス交通に興味のある方としており、幅広い年齢層で組織する予定です。

該当する章・頁	指摘・意見	回答・対応
7. 計画の目標(案) 【88P～】	<p>計画の目標値を記載しているが、数値的にならば変化がない。未知数であるが、数字は必要が無いのでは基本方針4の市民が主体的に取り組む事業の件数現況値0が目標値4とあるがどんな取り組みを指すのか。</p>	<p>目標値から評価基準に修正し、設定の根拠を89Pに追加しました。</p> <p>基本方針4については、コーちゃんバスを上手に利用する会などを市民が主体的に取り組む事業を考えています。評価基準については、季節ごとに1回以上の開催を想定し、数値を設定しました。</p>
	<p>計画の現況値とほぼ同値の目標値に、何の意味があるのですか？この目標値を達成したことにより、何が変わるのか？教えて欲しい。</p> <p>別案、仮に「市民の満足度を上げる」というのなら、市民満足度を指標にしてはどうですか。</p>	<p>ほぼ同値の評価基準については、89Pに示しました。人口減少傾向においても、本計画の施策を行うことで利用者を維持し、持続可能な公共交通の達成を目指します。</p> <p>満足度については、アンケート結果から抽出した、割合の多い不満足の結果に対応することが効果的な問題解決と考え、不満割合の減少を指標として設定しました。</p>
9. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体(案) 【90P～】	<p>基本方針と103Pの実施する施策スケジュールの繋がりが見えないので記載方法に修正が必要かと考えます。</p>	<p>103～104Pの事業内容については、事業ごとに基本方針1～4との対応を追記しました。</p>
	<p>公共交通軸の運行主体が交通事業者となっているが、本会議にJR東海が出席していないなかで現状維持の表現をしてよいか確認した方がよい。</p>	<p>東海道本線については、本計画において「公共交通軸」と位置づける重要な路線です。あくまでも、市内の3駅乗車人数として記載することで、ネットワーク形成やアクセス利便性の向上に努力することからJR東海への打診は不要と考えています。</p>

該当する章・頁	指摘・意見	回答・対応
<p>9. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体(案) 【90P～】</p>	<p>(1)①②について、実施主体に交通事業者が含まれているので、項目毎の割り振りを考慮して頂きたい。</p>	<p>事業内容の実施主体については、103、104Pの事業内容ごとに実施主体を明確にしました。</p>
	<p>(2)①②③④について、実施主体に交通事業者が含まれているので、項目毎の割り振りを考慮していただきたい。</p>	
	<p>タクシーに関する現状を示す資料として、タクシーの営業所の位置や保有台数に関するデータを4章(64P～)に追加してください</p>	<p>現況部(22P)に追加しました。</p>
	<p>デマンド型交通及びタクシーについて公共交通が運行していない地域や移動困難者のドアTOドアを基本とする考え方。</p>	<p>デマンドの具体的手法は検討中です。参考として他市例や運行方式の説明資料を記載しました。</p>
	<p>サービス確保の考え方「地域アクセス交通」がとありますが、どの地域をいうのですか？対象はどの地域も可なのですか。「地域アクセス交通」にデマンド型交通とタクシーはありますが、違いは？</p>	<p>地域フィーダーに修正しました。イメージ図の緑の部分で、白須賀や知波田、横山地区等を検討しています。84Pの説明にあるように、各地域のニーズに応じた移動手段により市内の集落と各地区拠点を結ぶ公共交通と考えています。</p> <p>デマンド型乗合タクシーについては乗合いであるため、例えば、同時刻に同じ便を予約された方がいた場合、直接目的地までの移動ではなく、相乗りで移動するなど、タクシーとは異なる交通体系です。</p>

該当する章・頁	指摘・意見	回答・対応
<p>9. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体(案) 【90P～】</p>	<p>デマンド型交通の検討について、その必要性がわかる現状や課題を4章(64P～)や5章(71P～)に追加して下さい。</p>	<p>グループインタビューにおいて「デマンド型交通」に関する意見が挙げられていることから、課題や対応方針について、「デマンド型交通」に関する記述を追記しました。</p>
	<p>取り組む事業の内容を、事業内容の項目毎に整理して記載して下さい。</p>	<p>90～102Pでは本計画で位置づける事業を整理し、その考え方に基づき実施する事業をスケジュールでもある103～104Pにて列挙しました。</p>
	<p>「デマンド型交通導入の流れ」が記載されていますが、これは現状のポンチョタイプのバス又はジャンボタクシーいずれの車両を想定しているのでしょうか(バスは対象外だと思いますが・・・) デマンドの導入について、実施済み地域でのメリットデメリット実例も簡単に記載したらどうか。</p>	<p>デマンド型交通については、車両の種類や運行方式などのサービス内容及び導入対象地域の検討を平成29年度以降に予定しており、詳細については網形成計画策定後に検討していきます。 デマンド型交通のメリットとデメリット、他都市での導入事例を追加しました。</p>
	<p>■バスロケーションシステムの件が記載されていますが、バスで実施する場合は、実施日の相当前の時期にシステムの詳細を教えてください。■導入に必要な費用、導入までの事前準備期間は承知していますでしょうか？(バス車内放送の作成方法が変更になりますので、事前に該当業者と打合せが必要になります)</p>	<p>バスロケーションシステムについては、平成32年の導入に向けた検討を実施します。ご指摘のとおり、費用や事前準備についても事業者と打合せを実施していきます。</p>

該当する章・頁	指摘・意見	回答・対応
<p>9. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体(案) 【90P～】</p>	<p>いずれかの会に沿線商業者や商店会なども参加してもらい、行政や利用者だけでなく、利用することで経済的恩恵を受ける側のほうの力も借りたら様々なものが活性化するのではないか。</p>	<p>施策の1つとしてコーちゃんバスを上手に利用する会があります、実施内容によっては沿線商業者や商工会の参加も依頼するなど検討します。</p>
	<p>東海道線については公共交通会議委員として出席していないので、実施主体と出来ないのではないかと。また、現状維持というだけでは記載の意味がないので、他市町の例を参考に修正されたい。</p>	<p>東海道本線については、本計画において「公共交通軸」と位置づける重要な路線であると考えています。あくまでも、市内の3駅乗車人数として記載することで、ネットワーク形成やアクセス利便性の向上に努力することからJR東海への打診は不要と考えます。「現状維持」の表記については、89Pに根拠を記載しました。</p>
	<p>乗継拠点や主要なバス停の乗継環境整備に関する現状を示す資料として、乗継拠点の数の記載や乗継ダイヤの例示、バス停の施設状況等を4章（P64～）に追加してください。</p>	<p>現況部（17P）に主要駅の乗継環境の状況を追加しました。</p>
	<p>事業内容について、すでに実施している事業と新規に実施する事業が区別できるよう記載して下さい。</p>	<p>103、104Pにおいて継続事業と新規事業の区別をつけた表記に変更しました。</p>

該当する章・頁	指摘・意見	回答・対応
<p>9. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体(案) 【90P～】</p>	<p>小学生や高齢者を対象とした乗り方教室、夏休み小学生50円バスの継続実施と同時に、小学生親子向けの観光モデルルート、市内バスツアーを実施してもらえるとバスに乗るきっかけがもっとできるのではないかと思います。幼稚園、小学生の親子は、バスの認知度(利用)は低いと思います。バスに乗るきっかけを作っていただきたいです。</p>	<p>公共交通の利用を誘導する事業において、④観光振興のための公共交通利用促進策の実施の部分で、観光モデルルート、市内バスツアーを実施していきます。小学生親子向けという提案については1つの利用促進案として参考にさせていただきます。</p>
<p>全体</p>	<p>移動することに対して、誰がどのように困っていて、どうなれば移動しやすくなるのか(ニーズ)をつかむ仕組みへの取組みが基本方針の中に薄いのではないかと考える。常にニーズをアセスメント(客観的評価)できるようにしておいたほうが良いのでは。</p>	<p>移動動向については、毎年病院アンケートやOD調査を実施しており、評価改善委員会によるPDCAサイクルを回しています。ニーズの客観的評価については基本方針ではなく、評価に関する事項で記載しました。</p> <p>また、地域フィーダーの運行にあたっては、対象地域の交通面での課題やニーズを住民が主体的に調査・把握し、その対策を考えながら運行していきます。</p>
	<p>デマンド型運行に関する記載がない。</p>	<p>他市例を記載しました。</p>
	<p>遠鉄バス浜名線、遠州鉄道浜名線、浜名線の表記について、統一したらどうか。文脈によって変えているなら問題ないとする。</p>	<p>市内公共交通路線の表記については、各路線名がはじめに登場する箇所にて注釈を追加し、計画内の表記を統一しました。</p>